



## 平成30年度 南小の教育構想について

子どもたちが学校生活で、様々な体験を通し、心身ともに大きく成長するために、学校としての目標を設定しています。それが、「学校教育目標」です。そして、この「学校教育目標」を達成させるために、目指す3つの像（児童像・教師像・学校像）を設定し、様々な教育活動を展開します。

### ◆南小の学校教育目標◆

#### 「人間性豊かで 実践力のある たくましい子どもを育てる」

##### ◎目指す児童像

◎思いやりのある子

→ **みんな**ができます

ノーチャームと「できます活動」

（できます活動：あいさつ・スリッパそろえ・廊下の歩き方）

◎進んで学び よく考え 行動する子

→ **なん**ども自分やみんなで考えます

◎最後までやりぬく子

→ **みんな**が目標に向かってがんばります

##### ◎目指す教師像：「明るく 厳しく 寄り添って」

○笑顔と愛情に満ちあふれる教師

○指導力を磨き、授業で勝負できる教師

○高い規範意識と協働意識をもつ教師

##### ◎目指す学校像

安全で 明るく楽しい 信頼される学校



## 児童の登校時間について

児童の登校時の安全確保という観点から、保護者の皆様には、朝の早い時間から旗振り当番のご協力をしていただき、誠にありがとうございます。しかしながら、児童の登校時間が早く、場所によっては多くの児童が通過をしてしまっているという現状があり、登校途中において交通事故等が発生した場合に、早急に対応できないことが考えられます。また、学校においては、児童玄関の開場時刻が7時45分になっています。早く登校をしても校舎内に入れないということもありますので、あまり早く登校をしないようご家庭でもご指導、ご協力をお願いいたします。



## 大きな目標を達成するには小さなことの積み重ねが何より大事

学校の花壇では色とりどりの花が咲き、春を告げてくれています。子どもたちにとっても新しい春の訪れです。

そんな春を迎えた子どもたちに、今年1年間「夢を持とう」「目標を持とう」ということを繰り返し話していこうと思います。

子どもたちに、いろいろな自由を楽しませることはとても大切です。しかし、自分のまだ気づかないことや見つけられていないこと、夢や見えない可能性に気づかせていくという、大人の責務を果たしていきたいと思います。いろいろな事例から、また、身近な事例から気づくヒントを探し出し、子どもの気づきを大切にしていきたいと思います。

私たち大人は、子どもたちの無限の可能性を心から信じるとともに、大切に育てていかなければならないと思います。

「必ずプロ野球選手になると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか西部ライオンズです。ドラフト1位で契約金は1億円以上が目標です。僕が自信があるのは投手か打撃です。」

これは、今でもアメリカのメジャーリーグで活躍しているイチロー選手の小学校の卒業作文の一部です。彼は、夢に向かい、挑戦し、自分の目標を超える新たな未来を踏み出した人です。彼は、このときに1日どのくらい練習をしなければならないかをしっかり決め、ずっと実行していったそうです。

彼は多くの人から尊敬されていますが、メジャーリーガーになったからすごいのではなく、夢を持ち、その目標に向かって努力し続けたことが素晴らしいのです。しかも、今も毎日のトレーニングでその夢を継続していることが尊敬される大きな原因になっているのです。

「ちいさいことをかさねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」というイチロー選手の言葉があります。

子どもたちの目指すゴールは一つでも、進み方は一人一人違ってよいのです。自分の目標に向かって少しずつ歩み続けることが大事なのです。

子どもを育てるということは、終わりのあるものではありません。常に一人一人を高めまで導き続けなければなりません。それもはじめから予定どおりに完成するというものでもありません。一つ一つの地道な作業を子どもの成長のきっかけづくりと重ね合わせながら、根気強く続けていくことが、子どもを育てる本質になると思います。



## 「1年生を迎える会」を行いました！

4月20日（金）の朝行事で、「1年生を迎える会」を行いました。5年生が花のアーチで迎え、1年生と6年生が手をつないで体育館へ入場しました。

6年生による歓迎の言葉の後、1年生一人一人が自分の名前を言いました。そして、全校児童での校歌合唱。大きな歌声が体育館いっぱいに広がりました。1年生は「ともだち」を元気な声で歌うとともにこれからの小学校生活への意気込みとお礼の気持ちを伝えました。南小児童のみんなが「ひとつになれる」ことに近づいたと思います。

